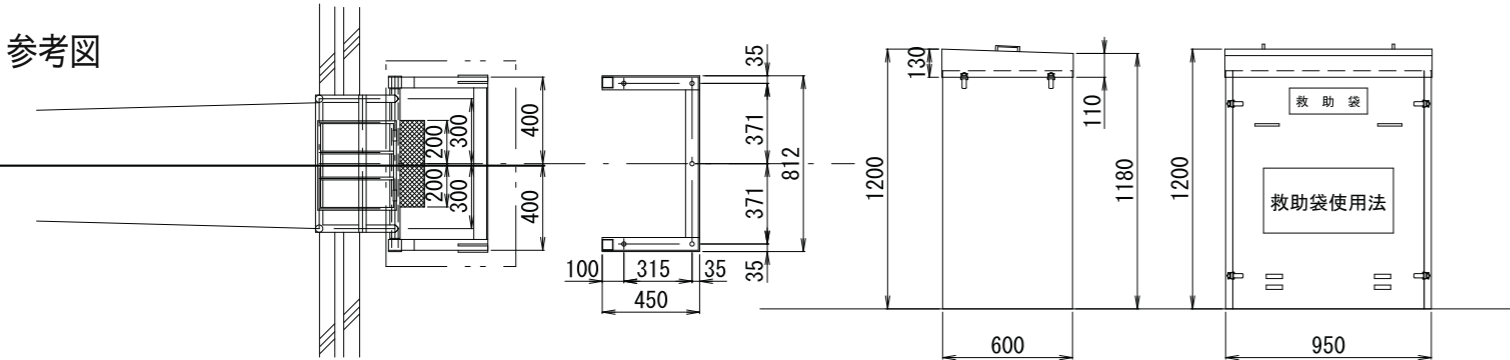


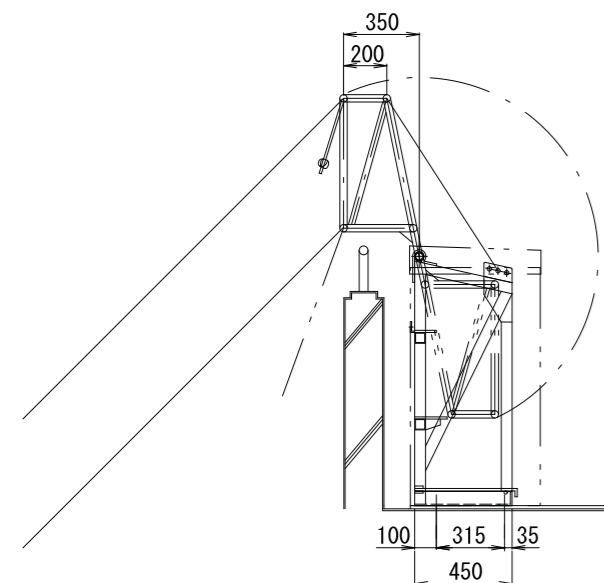
参考図



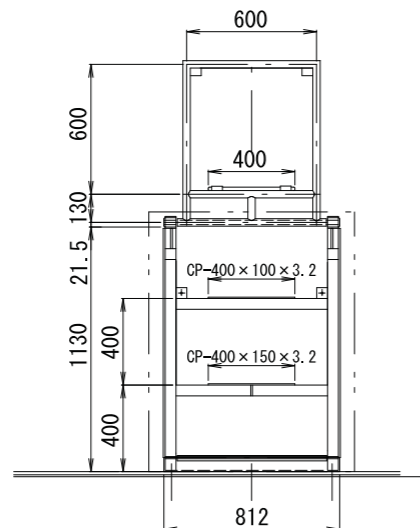
平面図

アンカーボルト配置図

分解型格納箱 (図面は屋外仕様)



側面図



正面図

備えあれば 安心・安全ライフ **ORIRO**

# ORIRO 斜降式救助袋

## 斜降式救助袋の主要材料

### 袋本体

名称	品名	規格
袋本体布	ポリエステル4号、5号	引張強さ タテ、ヨコ1,000N 以上
落下防止布	ポリエステル5号	引張強さ タテ、ヨコ1,000N 以上
受布、覆い布	ポリエステル4号、5号	引張強さ タテ、ヨコ1,000N 以上
展張部材	ポリエステルベルト	引張強さ 14,500N×2本

### 取付具

名称	品名	規格
取付金具	鋼材	L-65×65×6、□-50×50×2.3
入口金具	一般構造用鋼管	27.2φ×2.8、34.0φ×3.2、42.7φ×3.5

### 格納箱

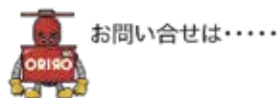
名称	品名	規格
鋼板	ボンデ鋼板1.2mm	粉体焼付塗装仕上
取手	ステンレス鋼板1.2mm	ヘアライン仕上
	亜鉛合金 サチライトクロムメッキ仕上	

### 固定環

名称	品名	規格
鋼板	スチール製(さび止め下地塗装)	139×139×t6 (上蓋)
	ステンレス製(鏡面仕上)	140×140×t6 (上蓋)

### その他

名称	品名	規格
縫糸	ナイロン、ポリエステル	#5、#2
誘導ロープ	PPマルチフィラメント	16打、6φ、オレンジ
吊りロープ	ワイヤロープ	6φ、8φ、10φ、12φ
保護マット	フェルト	10mm以上
取手	ナイロンベルト	50×2.0
下部支持装置	滑車、ビニロンロープ	1車、2車、ロープ10φ



**ORIRO** オリロー株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山 4-25-6  
URL: <https://www.oriro.co.jp> e-mail: [oriro@oriro.co.jp](mailto:oriro@oriro.co.jp)

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北8条西24-1-3 TEL. 011-640-7744 FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町1-16-6 TEL. 022-208-7744 FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見4-28-35 アークバレス1F TEL. 049-279-7744 FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6 TEL. 03-3814-7744 FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡2-17-24 TEL. 045-277-7744 FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒454-0921	愛知県名古屋市中川区中郷3-383 TEL. 052-352-7744 FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天2-14-24 TEL. 06-6572-7744 FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水3-9-21 TEL. 092-551-7744 FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724 TEL. 0256-92-7744 FAX. 0256-92-4949
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町421-2 大塚ビル1F TEL. 047-311-4470 FAX. 047-311-4474
メンテナンス部	〒112-0001	東京都文京区白山5-1-3-7F TEL. 03-3815-7744 FAX. 03-3815-7745



一般財団法人 日本消防設備安全センター  
認定番号 ふS-005-4号 (F-2)

●本製品は予告なく変更することがあります

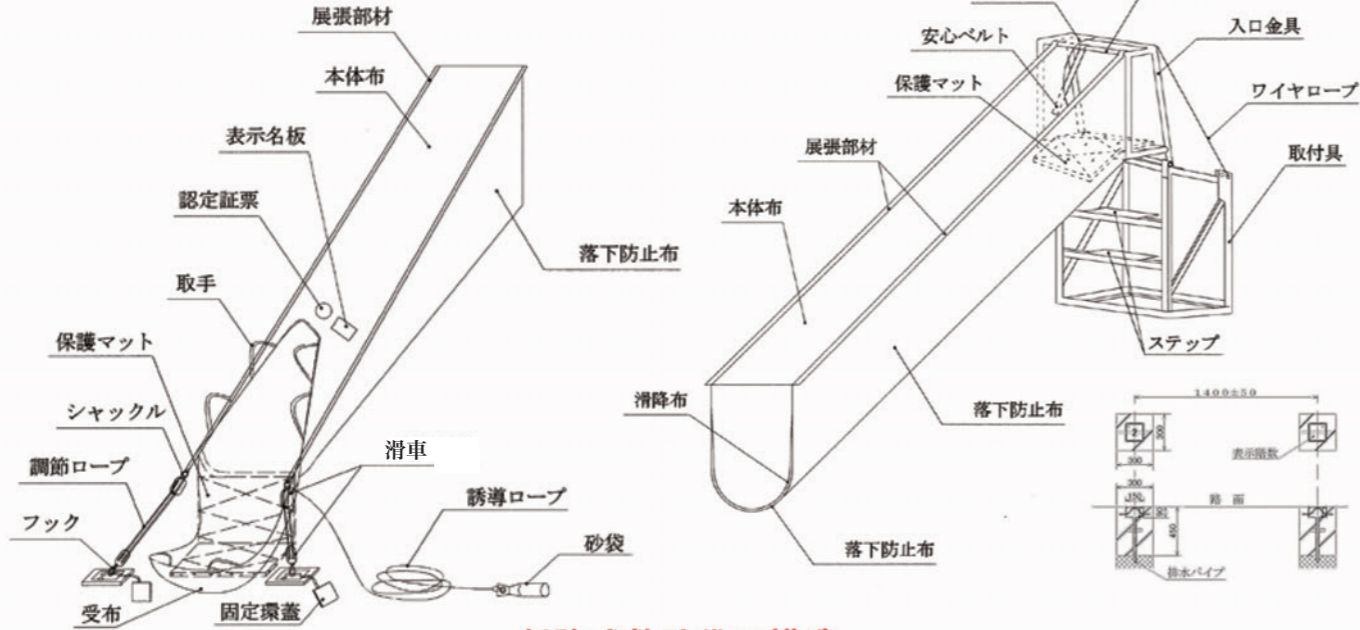
2024.02 改訂版



# 斜降式救助袋 (F-2)



## 構造図



## 斜降式救助袋の構造

半円形の筒状の袋本体は約45度の角度に展張し、滑降面は落下防止布を設けた2重構造。袋本体上部に2本の展張部材(ベルト)を縫着させ、袋本体に加わる荷重を保持する構造です。

## 特長

### 1) 強く、軽い

ポリエステル特殊加工帆布を使用し、従来の袋より約2倍の強度をもちます。軽量のため、操作は簡単です。

### 2) 安全と安心感

滑降面は、落下防止布を設け2重構造とし、展張部材(ベルト)2本を設け、外界が見えないため、恐怖感がなく安全に降下できます。

### 3) 連続降下が可能

降下速度を一定にするため、本体の傾斜は約45度。連続にも十分耐えられる構造です。

### 4) コンパクト設計操作が簡単

従来の器具よりもコンパクトな設計で軽量に。老若男女問わず操作可能です。

	設置位置			
	開口部の大きさ	操作面積	降下空間	避難空地
救助袋(斜降式)	高さ 0.6m以上 幅 0.6m以上	1.5m以上 開口部	1.0m 袋の中心 1.0m 35° 1.0m 35° 降下空間 25° 35° H(m) L=H×0.2	2.5m 1.0m 1.0m 以上
備考	1 開口部は、入口金具を容易に操作できる大きさであり、かつ、使用の際、袋の展張状態を設置位置近くの開口部等(設置開口部も含む。)から確認できること。 2 防火対象物の側面に沿って降下する場合の降下空間は、救助袋と壁面との間隔(最上部を除く。)は、0.3m(ひさし等の突起物のある場合は突起物の先端から0.5m(突起物が入口金具から下方3m以内の場合は、0.3m))以上とすることができる。			

## 斜降式救助袋取扱説明

### 斜降式操作方法(上部操作)

#### ①格納箱を取り外す(分解型)



1. 上ふたの両側についている止め金具をはずし①、取手を持って上ふたを取りはずす。②
2. 前板の両側についている止め金具をはずし③取手を持って前板をとりはずす。④
3. 救助袋の取り付けである開口部の窓、カーテン、ブラインド等を完全に開放する。  
! 注意一 ●格納箱の止め金具に指をはさまれないようにすること。指等に、ケガをする恐れがあります。  
(手前引き型は、取手を持って手前に引き、取りのぞく。)  
! 注意一 ●手前に強く引くと倒れることがあります。

#### ③袋本体を降ろす



1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①  
! 注意一 ●袋本体を降ろす時、障害物などにより途中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降し直すこと。  
●袋本体を降ろす時にサッシの角、止め金具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷をうけることがあります。  
! 警告一 ●袋本体が途中で自重で急速に落下することがありますので、手や衣服を巻き込まれないことと転落等の恐れがあります。

### 操作方法(下部操作)

#### 地上の固定環にセットする(地上要員)



1. 地上要員は、降下してきた救助袋の階数表示を確認した上で固定環のフタの階数表示と照合しフタを開ける。  
! 注意一 ●階数表示を間違えると正常な展張ができません。
2. 袋本体出口部から接続されている、張設ロープ先端の滑車(2車)に付いているフックを取手よりはらずし、袋本体がよじれていないか確認の上、左右のフックを見極めて固定環に1個づつ掛ける。  
! 注意一 ●固定環にフックを間違えて掛けると、袋本体にねじれが生じ正常な展張ができなくなります。



5. 正常に展張されたら受布を持ち、上階の降下者に降下準備完了の合図を送ります。  
! 警告一 ●固定環にフックが正常に掛かっていない場合や張設ロープが十分に固定されていないと、降下等の原因になるので十分に確認すること。

#### ②降下姿勢



1. 両手を上にするか、または胸の上において自然体の姿勢で、かかとをやや上げて背および腰で滑り降りる。  
! 注意一 ●降下者は、腕や足を急に広げたり突っ張ったりすると、急ブレーキがかかり、すり傷等を受ける恐れがあるのでしないこと。  
●出口部では、両足が地面に着くまで絶対に立ち上がらないこと。  
●着地前に立ち上がり、左右に脱出すると転倒する恐れがあります。  
●出口部では、正面に向かって脱出し、できるだけ横方向にはいかないこと。

#### ②バンドを引き、砂袋を投げる



1. 袋本体を締めつけてあるバンドを手前に引きバンドを解く。①
2. 誘導線の先端に付いている砂袋を地上に投下する。②  
! 注意一 ●誘導線の輪がもつれていないか確認する。  
●砂袋を投下する時、ひさしや、下階の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂袋が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。  
●地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

#### ④入口金具を回転させる



1. 袋本体が降下し終わったことを確認する。①
2. 入口金具の両側のワイヤロープ2本を持って④または入口金具の下端部分のパイプを持って回転させる。②
3. 入口金具の2段、3段とアームを伸長する金具は、折りたたんだままの状態にて回転させる。③  
! 注意一 ●入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの恐れがあります。  
●伸長させた状態で回転させると開口部上端に当り回転できないことがあるのでしないこと。
4. 入口金具が一定の所で静止した状態で両側のワイヤロープ2本が正常に展張されているか確認する④  
2段、3段とアームを伸長する金具で、入口金具の上端部にバンドの付いているものは、バンドを引く。入口金具の内部よりアーム(支持棒)を伸長させ全体が正常に伸張されているか、内側、外側より確認する。  
! 注意一 ●正常に伸張されていないと降下できません。



3. 下部支持装置の張設ロープの先端のフックを固定環に引掛け、張設ロープの末端を滑車間のロープの中を通して①、地上高約50cm位の高さになるように十分に引き、ロープを逆方向に引っ張って固定する。②  
袋本体の出口部と地上面との高さが50cm以下に張設されたら逆方向に引きロープの間に食い込ませ固定する。
4. 袋本体の出口部に腰を下ろし荷重を掛け、袋本体が左右均等に展張されているか確認する。左右が均等でない場合は均等になるよう調整し、ロープを固定する。②  
! 注意一 ●袋本体が左右均等に展張されていないと、片だるみが生じ降下しにくくなります。

### 降下方法

#### ①降下する



1. 取付金具に設けられているステップを手前に倒す。① ② 地上の合図により入口棒の上端を持って足より入り、正面にある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②  
! 警告一 ●降下者は、頭から袋の中に絶対に入らないこと。  
頭から地上に着地するため大変危険です。  
●袋の中にいきおきよく入らないこと。加速がつき出口で飛び出すことがあります。  
! 注意一 ●入口金具の入口部で立ち上がらないこと。  
立ち上がると開口部の棒等で頭を打つことがあります。

#### ③地上要員



1. 地上要員は、出口部の受布を持ち、降下者が出口部より飛び出さないように受け止める。受布の注意表示布による。  
! 注意一 ●地上要員が受布を持っていないと降下者が飛び出す場合があります。

指・衣類のはさみ込み注意

※ 避難器具の設置基準上、下地補強(建築施工)が必要になる場合があります。